

水・緑と観光を繋ぐ回廊計画 平成30年度における予算措置状況 (単位：千円)

事業名等	水・緑と観光を繋ぐ回廊計画の推進				前年度 当初予算額
	左の財源内訳				
予 算 額	国庫支出金	都支出金	地方債及びその 他の特定財源	一般財源	
23,493	(内訳)	3,268 (内訳)	11,557 (内訳)	8,668	39,964
(款-項-目) 2-1-9 計画PR費用					
11-01 52				52	
回廊パンフレット作成委託 13-12(03) 216				216	
(款-項-目) 7-2-3 舗装工事		15-2-5-1-02			
15-01(02) 9,510		189		7,442	
		15-2-6-1-01 1,879			
(款-項-目) 5-1-3 不耕地解消事業用種苗等					
11-01 84				84	
町民農園周辺木柵等修繕 11-06 310				310	
事業用農地管理委託 13-12(04) 475				475	
狭山池上流部調査設計委託 13-13(01) 3,000		15-2-4-1-03 1,200	18-2-3-1-01 1,800		
(款-項-目) 6-1-3 観光サイン設置工事					
15-01(01) 9,846			18-2-3-1-01 5,200	89	
			20-3-3-1-50 4,557		
(事業目的及び概要)					
<p>町に点在する貴重な歴史的資源、自然環境資源や景観資源を有機的に繋ぎ、それぞれの魅力を高めます。平成24年度から9年間を計画期間とする、長期的で広範囲な計画です。</p> <p>計画は大別すると、拠点整備とルート整備に分けられます。ルート整備では、歩きやすい道づくりと、回遊して楽しい道づくりを基本的な考え方とします。拠点整備では、郷土資料館「けやき館」及びさやま花多来里の郷（カタクリ群生地）の充実と、狭山池上流部の整備につとめます。</p>					
(事業の成果目標)					
<p>【拠点整備】 郷土資料館「けやき館」を隣接する耕心館と一体的に運営し、町内外の方々を迎える施設とします。さやま花多来里の郷は、貴重なカタクリの群生に影響の無いよう十分配慮した整備工事をすすめてきました。引き続きカタクリの見頃だけでなく、年間を通じて楽しめる施設として運営していきます。これらの拠点施設と、都立野山北・六道山公園や耕心館などの関連施設が互いに繋がることにより、広域的に来訪者の回遊性を高め、町の魅力や質を高めていきます。</p> <p>また、狭山池上流部整備計画の推進に向け、引き続き地権者等との調整を図るとともに、平成29年度にはひまわり畑の整備を行いました。引き続き実現可能な事業の取組をすすめます。</p>					
<p>【ルート整備】 計画ルートの一部である町道347号線（箱根ヶ崎地内）を整備します。整備内容については、回廊ルート整備部会の意見を伺いながらすすめます。</p>					
<p>【全体】 協働による計画の推進を図るため、愛称・ロゴマークを最大限活用して計画を周知し、理解と協力を求めます。協議会の下に置かれた3つの検討部会を開催し、それぞれが担う課題解決や、新たな計画の展開を推進します。部会同士の連携を密にし、相乗効果を高めます。また、町の観光用ホームページの内容を充実させ、町内外に町の魅力を発信します。</p> <p>平成29年度に整備を開始した観光サインについては、引き続き観光部会の意見を伺いながら設置をすすめます。</p>					